

講義名	卒業研究
講義コード	14048
担当教員	中山 一郎
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
備考	

ゼミ
中山一郎ゼミナール

学部
人間社会学部・商学部・経済学部

学科
研究演習 :全学部・全学科(学部・学科は問いません)

演習名
キャリアデザイン学

概要説明
<p>研究演習 でおこなったこと： 社会人や職業人に<キャリアインタビュー>を実施し、結果として、皆さん一人ひとりの「生き方」や「働き方」、さらには今の「大学生生活」やこれからの「就職活動」などといったものについても考えていきました。どのような人物に<キャリアインタビュー>をおこなうのかは、基本的には皆さん自身が決め、皆さん自身でアポイントを取り、皆さん自身に行ってもらって、最終的にプレゼンテーションを行っていただきました。</p> <p>研究演習 でおこなうこと： 本学の社会創生プログラム「Nプロジェクト」(淡路市仁井地区の地域活性化活動)を推進していくため、2018年度以上に積極的に参画していきます。具体的には淡路市仁井地区をより深く、より多面的に理解していくために「産業とビジネス」「歴史と民俗」「自然と環境」という3つのテーマを設定し、それぞれのテーマにそった各関係人物に<キャリアインタビュー>を交えながら調査・研究を行い、最終的にはゼミ内で報告(プレゼンテーション、レポート提出)をしてもらいます。</p> <p>卒業研究でおこなうこと： 研究演習 や研究演習 でおこなってきた研究を核としながら、さらに研究活動を深めていき、最終的にはそれを「卒業論文」としてまとめてもらいます。</p>

学位
修士(人間科学)

教員よりの要望
<p>「生き方」や「働き方」の正解があった一つだけではないという「新しい時代」や「新しい社会」がやってきました。そのような中、皆さん一人ひとりが充実した大学生生活を過ごし、さらには充実した生き方や働き方を実現していくためには、いったいどのような知恵や知識、能力やスキル、姿勢や態度が必要なのでしょう。ゼミ活動をとおして、皆さんの<今>や<これから>をいっしょに考えていきましょう。</p> <p>このゼミ活動をおとして、大学生生活の軸となる勉学はもとより、クラブ・サークル活動やアルバイト、そして来るべき就職活動やビジネス活動の現場においても求められる知恵や知識、能力やスキル、姿勢や態度を身につけていってください。</p> <p>研究活動はもとより、ひとりの人間として共に成長していきましょう。</p>

教員英字氏名
Nakayama Ichiro

研究室
研究棟 5413研究室

最終学歴
大阪大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士前期課程〔修士(人間科学)〕

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>研究活動(2019年現在)： ファミリーヒストリーから「自己のキャリア形成」を考える 淡路島仁井地区の歴史</p> <p>社会活動： NPO法人キャリア・インディペンデンス 副理事 神戸市立 須磨翔風高等学校 学校評議員 キャリアの手子屋 後舎 主宰(若者、フリーター、精神障がい者のキャリア形成・就職・転職活動等の支援)</p> <p>研究業績： (著書) 『フロー先生のキャリア物語～知恵の一滴』(単著、ジューク堂書店、2000) 『大卒フリーター問題を考える』(共著、ミネルヴァ書房、2005) 『キャリアカウンセラー養成講座 CDA受験対策テキスト6』(共著、日本マンパワー、2007) 『キャリアコンサルタント養成講座 CDA資格(キャリアカウンセラー)対応テキスト5』(共著、日本マンパワー、2016) 『エピソードの就活・キャリアカウンセラーが教える7つのステップ』(単著、晃洋書房、2017)</p> <p>(研究ノート)</p>

主な卒業論文のタイトル
2018年度、初めて第1期のゼミ生が卒業しました。まだまだこれからのゼミです。みなさんといっしょに中山ゼミを創っていきましょう。

趣味・特技
【2019年、気になっているキーワード】 新しい時代の若者の生き方や働き方、淡路島、空海、木内昇(小説家)、上原隆(コラム・ノンフィクション作家)、明治時代、イニエスタ、猫、夕陽...などでしょうか。

所属
人間社会学部 人間健康学科

所属学会
日本キャリアデザイン学会、日本ビジネス実務学会、淡路地方史研究会

専門分野
キャリアデザイン、キャリア教育、職業指導、就職支援、インプロ(即興演劇)、系譜学

選考方法
2019年度は「研究演習」は募集しません。

担当科目
自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B、オフキャンパスプログラム、キャリア基礎論、キャリア実践論、キャリア実習、キャリアビジネス論、職業指導、職業指導、教養特講、研究演習、卒業研究

備考
ゼミはグループワークが基本となりますので、メンバー一人ひとりにはさまざまな「役割」や「担当」を担っていただくこととなります。「ルーズな人」「責任感が欠如している人」は、他のメンバーに多大な迷惑をかけてしまうことにもなりかねません。

評価方法
評価方法は、平常点(ゼミ活動への貢献度・グループ活動への貢献度・出席)、研究活動、研究成果(プレゼンテーション、レポート、創業論文)で決定します。